

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	18
支 払 項 目	事務費		
検 収 年 月 日	令和6年9月25日		
支 払 年 月 日	令和6年9月25日		
支 払 金 額	6,833 円		
支 払 先	株式会社三和商会		
使 途 内 容	コピー用紙代 6,833 円		
備 考	※1/4について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☒ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領収証

No. 008435

日本共産党
桑名市議会議員田 様

2024年 9 月 25 日

金額

727335

但 ☒ 用什物
☐ 飲食料品等(軽減税率対象)

内

8%(税込・税抜)金額 消費税額等

10%(税込・税抜)金額 消費税額等

現金・カード・()

HISAGO #N1778(100)別シ J645028

上記正に領収いたしました

OA機器・事務用品
文具

株式会社 三和商 会

桑名 7
FAX 22-1480 (代)

登録番号 T 5190002016665

領 収 書 等 添付合計金額	27,335 円 (内、政務活動費充当額 6,533 円)
-------------------	-------------------------------

請 求 書

伝票番号 120782

2024年 9月 25日

【登録番号：T5190002016665】

日本共産党
桑名市議会議員団

様

(000800-003)

OA機器・事務用品・文具・学校教材全般

株式
会社

三和商会

代表取締役 近藤 大貴

〒511-0042 三重県桑名市柳原1

TEL 0594-22-1479 FAX 0594-22-1480

	品 名 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額
1	WHITE OA用紙 B4 2500枚	7	ケース	3,905	(10%) 27,335
2					
3					
4					
5					
6					
7				正夕務活動費 T.D	4,6833- 420,502-
8					
内税10%対象額 27,335円 税額 2,485円				合計金額(税込)	¥27,335

摘要

取引銀行

百五銀行 桑名支店 (当)

桑名三重信用金庫 本店 (普)

検
印

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	19
支 払 項 目	事務費		
検 収 年 月 日	令和6年10月31日		
支 払 年 月 日	令和6年10月31日		
支 払 金 額	1,985 円		
支 払 先	マルサン		
使 途 内 容	コピー用紙代 1,985 円		
備 考	※1/4について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☒ 事務費	☐ 要請・陳情費	



三重県桑名市和泉八の割394-1

TEL:0594-24-4844

登録番号 T4190001012583

* 令頁山又書月糸田 *

2024/10/31(木) 16:09 店0001 No 0082*

担当者 0022: [REDACTED]

コード	品名	数量	単価	金額
-----	----	----	----	----

307-000051-000	北°-八°-八°-PWB4 1箱	2	3,971	7,942
----------------	------------------	---	-------	-------

10%対象	7,942
(内消費税等 10%)	722)

政務活動費 8,119.81

8,499.2

8,359.4

登録番号 T4190001012583

7,220 消費税 722)

¥7,942-

(現金 7,942)

収入印紙

領収書

2024/10/31 (木) 16:09
No:0082

領収書等
添付合計金額

7942 円 (内、政務活動費充当額 1,985 円)

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	20
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和6年11月5日		
支 払 年 月 日	令和6年11月5日		
支 払 金 額	30,800 円		
支 払 先	株式会社くわな新聞社		
使 途 内 容	広報紙折込代 30,800 円		
備 考	※支払番号「22」の広報紙の折込代		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書

日本共産党 桑名市市議団 多屋真美 様

下記の通り、領収いたしました。

但 『くわな新聞』 折込広告【B4サイズ】 料として
令和 6 年 11 月 5 日

見積No: Y20241114
見積日: 2024/11/5
登録番号: T7190001025459
株式会社くわな新聞
〒511-0023
三重県桑名市本町43
TEL 0594-22-9870
FAX 0594-22-9872
担当

新

合計金額

¥30,800

(税込)

消費税 (10%)

¥2,800

税抜

¥28,000

No	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1	11/14発行号(100号)【B4サイズ】折込広告料	10,000	枚	¥2.80	¥28,000	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

10000

備考

小計

¥28,000

消費税 (10%)

¥2,800

合計

¥30,800

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	21
支 払 項 目	事務費		
検 収 年 月 日	令和6年11月6日		
支 払 年 月 日	令和6年11月6日		
支 払 金 額	5,857 円		
支 払 先	株式会社三和商会		
使 途 内 容	コピー用紙代 5,857 円		
備 考	※1/4について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☒ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領収証		No. 008443
日本共産党 桑名市議会議員団 様		2024 年 11 月 6 日
金額	7,234.30	
但 ☒ 用紙代	上記正に領収いたしました	
☐ 飲食料品等(軽減税率対象)	OA 機器・事務用品	
内 8%(税込・税抜)金額 消費税額等	文具	
10%(税込・税抜)金額 消費税額等	株式会社 三和商会	
現金・カード・()	桑名 7 (代)	
HISAGO #N1778(100)別シ J645028	FAX 22-1480	
	登録番号 T 5190002016665	

領収書等 添付合計金額	23,430 円 (内、政務活動費充当額 5,857 円)
----------------	-------------------------------

請 求 書

伝票番号 122391

2024 年 11 月 6 日

【登録番号：T5190002016665】

OA機器・事務用品・文具・学校教材全般

株式
会社

三和商会

代表取締役 近藤 大貴

〒511-0042 三重県桑名市柳原1
TEL 0594-22-1479 FAX 0594-22-1480

日本共産党桑名市議会議員団

様

(000800-003)

	品 名 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額
1	WHITE OA用紙 B4 2500枚	6	ヶ-入	3,905	(10%) 23,430
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
内税10%対象額 23,430円 税額 2,130円				合計金額（税込）	¥23,430

摘要

取引銀行

百五銀行 桑名支店 (当)

桑名三重信用金庫 本店 (普)

検
印

様式第10号(第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	22
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和6年11月6日		
支 払 年 月 日	令和6年11月6日		
支 払 金 額	60,920 円		
支 払 先	SGシステム株式会社		
使 途 内 容	広報紙印刷代 60,920 円		
備 考			

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費 ☐ 資料購入費	☐ 研修費 ☐ 人件費	☐ 会議費 ☐ 事務費	☒ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情費	☐ 資料作成費
代引金額領収書 2024年11月06日 集金代行者 付 佐川急便㈱ 四日市営業所 TEL 0570010344 お問合せ送り状No. 5184-7574-4522 【決済金種】 ✓：現金 代引金額(税込) ¥60,920- 内消費税:5,538円 上記金額を領収いたしました。 印紙税申告納 付につき 税務署承認済 ※本帳票は適格請求書としてご利用いただけません。 ※この商品代金の領収書はご依頼主の委託により発行するものと致します。 ※商品及び代金の内容に関してはご依頼主にお問合せ下さい。 ※領収内容を修正したものは無効となります。 領収書発行者：SGシステム（株）東京都江東区新砂1丁目8番2号 集金代行者：佐川急便（株）京都市南区上鳥羽角田町168番地					
領収書等 添付合計金額	60,920 円 （内、政務活動費充当額 60,920 円）				

請求書
(インボイス)

2024年11月03日

日本共産党 桑名市市議団 御中 多屋真美 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
ご依頼いただきました件、次の通り御請求申し上げます。
何卒よろしくお願い申し上げます

株式会社プリントパック

〒617-0003

京都府向日市森本町野田3-1

TEL 0120-977-920

FAX 075-935-6890

登録番号 T5130001024625

お支払条件 代金引換（後払）

納品場所 ご指定場所

御請求金額 60,920円（税込）

納品期日 3営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC40781643	品名：桑名市議団24.10 B4 / 両面4色 / コート90 / 13,000部×1種類 / 加工1：トンボ仕上がり断裁（ご注文サイズでお納め） 加工2： ※発送諸経費を含みます。	1	60,920	60,920
	10%対象（税抜）			55,382
	10%消費税			5,538
	小計			60,920
合 計				60,920

特記事項

代引手数料はお客様にご負担いただく形となります。
商品到着時に運送会社様へお支払いくださいませ。

2024 年 10 月 発行

発行：桑名市議会 日本共産党桑名市議団
☎ 0594-24-1311
(桑名市役所議員控室)

※このニュースは政務活動費で作っています。
ニュースや市政のご意見をお聞かせください。

第3回定例議会
8/28(水)～9/26(木)

87 号

厳しい猛暑から、一変して肌寒い季節になりました。

8月28日～9月26日の日程で、9月議会が開かれました。

これからも体調に気をつけて、お過ごしください。

9月議会は、決算議会
市税収入は、最高額を更新

市長定例記者会見より：市民税では、個人住民税が前年度比2億6千万円増加した一方、法人住民税が前年度比3億円の減少。固定資産税は前年度比8千万円増加したことなどにより、市税全体では、前年度比7千万円の増加。引き続き、「稼ぐ改革」の柱である企業立地を推進し、将来へ向けた投資のために、税収の確保に努める。

(億円)

基金の年度末現在高の推移

150.0
100.0
50.0
0.0



最高額！！

159.7

基金残高が最高額
約159億7千万円

市民生活に活か
されているか！？



企業が稼ぐ、企業誘致中心のまちづくりではなく、

一般質問

今後の公共施設について

市民の文化・健康を寄与する公共施設のあり方について、市の考えは

質問：公共施設の雨漏り、空調の故障などが相次いでいる。総合福祉会館2Fは、雨漏りをバケツなどで対応しており、今は空調が故障し、利用できない状態にある。カラオケや卓球、囲碁を楽しんでいた高齢者の健康維持・増進を阻むことになる。

市民プールは、25mプールのろ過機の不具合により、8/17～利用出来ない状態から、部品の交換により、8/28より使用再開となった。今後、総合運動公園へのプールの新設や、市民プール付近に民間プールも多くあるが、子ども達が安価で、自転車で移動できる市民プールは、必要な施設。市民の文化・健康に寄与する役割がある公共施設の状態をどう考えているか。

市民の要望に基づいた、公共施設の在り方としての考えは？

質問：市民プールは、利用できる時期が短いということであれば、近くの揖斐川堤防では、スケボーの練習を望んでいる若者も多い。市民プールが開催されていない時期などに、スケボー練習場としての活用も可能ではないか。揖斐川堤防の他にも、西別所緑地公園にも練習場を要望している小学生もいる。公共施設マネジメントは、市民の要望に添ったものであるべき。公共施設の活用の考えは？

雨漏りのため、バケツが置かれた、総合福祉会館 2F

答：公共施設等総合管理計画に基づいて公共施設の維持管理に努めている。厳しい財政状況の中で、長い間、施設や設備の更新ができなかったため、今後さらに多額の費用が必要となる。設備等の定期的な点検を実施し、修繕の緊急性を判断した箇所は、速やかな応急修繕対応を行っている。できる限り予防保全と適切なメンテナンスを行い、市民の方にご迷惑をおかけしないよう努めている。

市の財政状況は大きく改善したとはいえ、余裕のある財政運営ではないため、予算には限りがある。公共施設マネジメントに基づく施設の更新や再編統合、施設の使用状況や公共サービスとしての重要度などから優先順位を付けて対応せざるを得ない。

使用されていない施設の目的外での、市民に安全・安心なサービスの提供は、老朽化した施設の安全性や管理責任など、慎重な検討が必要。公共施設等の現状と将来見通しを踏まえ、維持管理の方法など、長期的な視点で検討し、財政負担の軽減・平準化を図り、公共施設等の最適な管理に取り組む。

文化・スポーツ、健康維持に寄与する公共施設の役割を果だし、市民の要望に基づいた活用の検討を！

たや：市の財政は、今年度も、過去最高という決算状況であるが、市民には納得しがたい現状がある。公共施設は、市民のための施設であり、使用できないことで、市民の文化・スポーツ・健康を奪っている状況に、多くの市民の方が困っており、早急な対応が必要。また目的外の利用や開放についても、市民の方の様々な要求を、実施に向けて検討するべき。

スケボー練習場の要望がある、西別所緑地公園や揖斐川堤防付近。写真は、西別所緑地公園



雨漏りのため、バケツが置かれた、総合福祉会館 2F



また目的外の利用や開放について、中氏のワウの隊へは委ね、実施に向けて検討するべき。

スケボー練習場の要望がある、西別所緑地公園や揖斐川堤防付近。写真は、西別所緑地公園



21 議案中、11 議案に反対（下記は、その一部）

議案第 70 号 令和 6 年度桑名市下水道事業会計補正予算（第 1 号）
（江場ポンプ場テニスコートの売却）市の土地は、市民のために使うべき。
活用について、地域住民への説明、意見を聞くべき。

議案第 71 号 令和 5 年度桑名市一般会計並びに各特別会計歳入歳出決算の認定
ライオンバー関連、民営化や業務委託、公共施設マネジメント、同和事業関連、
小・中一貫校事業、桑名駅西土地区画整理事業、企業誘致等関連事業、スロート
インターチェンジ推進事業 などに反対。

議案第 84 号 令和 6 年度桑名市一般会計補正予算（第 6 号）
多額の市税を投入するスロートインターチェンジ整備事業に反対の立場から、反対。

過去最高の決算の成果を、市民の暮らしに！

物価高騰で、市民の暮らしは苦しい中、料金の値上げや施設の故障など、市民サービスは低下している。
社会保障や保育・教育などの公共の福祉を豊かにすることが、市民が安心して暮らすことになる。市税収入、
基金残高ともに合併以降最高の決算の結果であるが、市民の負担軽減や不安に応える施策や事業を行うべき。



売却される江場ポンプ場のテニスコート。
地域自治会の説明は、議案採択後とのこと。



様式第10号(第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	23
支 払 項 目	事務費		
検 収 年 月 日	令和6年11月20日		
支 払 年 月 日	令和6年11月20日		
支 払 金 額	15,400 円		
支 払 先	株式会社中部システムセンター		
使 途 内 容	インク代、印刷機器レンタル代 15,400 円		
備 考	※1/4について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

請求書

お客様コードNo. 042

511-0037

桑名市元赤須賀128

日本共産党 桑名市議団 様

2024 年 11 月 20 日 締切分 (20)

No. 116- 1

株式会社 中部システムセ

〒514-0111 三重県津市一身田平

TEL 080-5101-3174 FAX 059-232-5356

登録番号 : T6190001000644

【お振込先】 百五銀行 一身田支店 (507) 当座

口座名義 カブツシステムセン

TEL: 0594-24-0861M FAX: 0594-24-0861

下記の通りご請求申し上げます。

※ご請求月の翌月末までにお支払い下さいますようお願い申し上げます。

前回ご請求額	ご入金額	調整額	繰越金額	今回お取引額	ご請求額
0	0	0	0	61,600	¥61,600

伝票日付	伝票No.	品名	数量	単位	単価	金額
24/10/21	78997	リソグラフREインク F IIタイプ 黒	2	箱	9,600	19,200
		送料	1	式	800	800
		消費税等				2,000
						< 22,000 >
24/11/ 1	79017	RE67Zインク 2024. 12. 1~2025. 11. 30	1	年間	36,000	36,000
		消費税等				3,600
						< 39,600 >
		【合 計】				61,600
		(内消費税等10%)				5,600

今回ご請求額は
12月 12日に
お引落し致します

政務活動費

T=15

¥ 15,400.-

¥ 46,200.-

振込手数料は貴社にてご負担ください

※明細欄は税別金額です。

3

・他店券でのご入金およびお振込は摘要欄に表示し、そのお支払可能日は当該記帳行に表示いたします。
なお、お支払可能時刻は他店券の種類によって異なります。詳細については窓口にお問い合わせください。

差引残高の金額頭部にマイナスイ「-」表示がある場合はお借入残高を表します。

1. X 通帳に2号落しを確認

様式第10号(第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	24
支 払 項 目	研修費		
検 収 年 月 日	令和6年12月5日		
支 払 年 月 日	令和6年12月5日		
支 払 金 額	15,000 円		
支 払 先	全国地方議員交流研修会実行委員会		
使 途 内 容	第20回全国地方議員交流研修会 15,000 円		
備 考	・参加費 15,000円		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☒ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領 収 証

2024 年 12 月 5 日

桑名市議会 日本共産党桑名市議団
多屋 真美 様

一金 ￥15,000 円

第 20 回全国地方議員交流研修会（2025 年 1 月 29 日～30 日）
参加費
として
上記まさに領収しました。

全国地方議員交流研修会実行委員会
事務局 会計担当 迫田 富雄

〒212-0011 川崎市幸区幸町 4 の 8 青柳ビル 2 F

TEL 090(8588)8307 FAX 044(541)2066



領 収 書 等 添付合計金額	15,000 円 (内、政務活動費充当額 15,000 円)

日程：2025年1月29日(水)～31日(金)

1日目 1/29(水) 全体会

場所：琉球新報ホール

記念講演 「沖縄、日本を再び戦場にさせてはならない」 玉城デニー 沖縄県知事

沖縄は、琉球王朝時代から東アジア圏で交流を築いてきた。ふたたび東アジアの経済発展の中心地、平和のハブとしての役割を果たすべき。米兵による性的暴行事件はあとを絶たない。不平等な日米地位協定の抜本的な見直しが必要。国際平和創造拠点の形成に向けて、基地のない平和で豊かな沖縄の将来像・展望を語った。

< 問題提起 >

●「戦後80年、私たちから平和をつくるー欧米からグローバルサウスの時代へ」

羽場久美子 青山学院大学名誉教授

ロシア・ウクライナ、ガザ・ウクライナを即時停戦させ、国際政治を大転換しよう！

欧州とアジアの地域協力、北東アジア自治体連合、沖縄を平和のハブに！ 広島・長崎・沖縄を世界の平和のセンターに！ 非核地域の拡大など、日本が果たす役割が語られた。

●「食料自給工場のための提言」

鈴木宣弘 東京大学特任教授

食料安全保障推進法を作り、日本の農業・農村を支えて食料を守ることが一番の安全保障。

< 特別報告 >

●「米軍基地・自衛隊基地に翻弄される沖縄」

三上智恵 映画監督

三上智恵映画監督が作った5本の映画の背景・経過を紹介。基地建設が進められる沖縄の現状、ないがしろにされている沖縄県民の命と暮らしなどが報告され、流れを変えようと呼びかけた。

●日中不再戦平和友好をすすめる九州自治体議員の会準備会

西聖一熊本 県議

昨年長崎での交流研修会後に会が発足し、訪中報告。中国では大変歓迎され、平和を築くうえで、重要な活動と紹介。このような会があることを知り、心強く思った。

●「米兵による少女暴行事件に対する抗議と再発防止を求める沖縄県民大会」(24.12.22)の報告

伊良波純子 沖縄県女性団体協議会会長

2/6に、政府に対し申し入れを行うとして、全国の地方議員への期待と連帯を表明。

2日目 1/30(木)

場所 : 沖縄県市町村自治会館

第4分科会 「『こども計画策定』にあたってこどもの 貧困の解消へ」

●問題提起： 沖縄の子どもの貧困から見えてくるもの

山内優子 沖縄子どもの貧困解消ネットワーク共同代表

沖縄県のこどもの貧困は、全国平均の2倍。終戦後、日本は、児童福祉法の成立で、母子寮や保育所・児童館が出来たが、アメリカ統治のもと、それらが大きく遅れた。

山内さんが、現在されている子どもの居場所活動や、シングルのママへの支援の活動の紹介。住居などの生活支援の他、車の免許をとるなど(就職、生活の幅が広がる)などの自立に向けた支援を行っている。免許をとることで、自己肯定感も大きく向上する。

感想：沖縄の戦後の子どもたちの状況について、初めて知ることが多かった。シングルマザーへの支援など、全国共通の問題であるが、より深刻である沖縄の現状を聞くことが出来た。

●問題提起： 学校現場から見た子どもの貧困の現状と職員の働き方

木本邦弘沖縄県教職員組合委員長、武直樹大阪市議

1.子どもの現状

低収入、離婚、虐待、不登校やいじめなど、子どもに多くの困難な状況がある。

家庭の状況をつかむ必要があるが、家庭訪問の廃止、また全国学力テストの弊害で、子どもは低学年から勉強嫌いになっている。

2.教員の現状

- ・メンタルによる休職者が全国ワーストを10年以上更新。教員不足が常態化。
- ・こどもの変化を感じる余裕がない
- ・関係機関との連携のための時間がない。

感想：こちらも全国共通の問題であるが、沖縄はより深刻な状況であることを知った。学校が貧困解消のプラットフォームになること、他機関との連携など、行政の役割を強く感じた。

3日目 1/31(金) フィールドワーク 沖縄戦跡訪問

(糸数アブチラガマ、平和資料館、平和の礎・資料館、ひめゆりの塔)

30年ぶりにガマに入った。短い時間、いるだけでも怖かったが、うめき声や異臭がまん延する当時のことを思うと、いたたまれない。資料館などでも当時、どのような中に人々は置かれたのか、また人達の暮らしを感じ、平和の重要性をより感じた。

3日間を通じて、党派を問わず、多くの方が思いを1つにしたことが心強く、1日目の講演などを通じて、日本が果たす役割やその可能性など強く感じました。

全国地方議員交流研修会 in 沖縄

〔延期のお知らせ〕 ※ 予想される総選挙との関係で前回ご案内の開催日を10月29日(火)から2025年1月29日(水)へと3カ月延期致しました。

1日目

2025年

1月 29日 水

2日目

30日 木

3日目

31日 金

9:00出発
15:00 頃終了予定

全体会 13:00—17:30
12:00開場 (12:30受付)

琉球新報ホール

那覇市泉崎1丁目10番3号 Tel.098-865-5256

名刺交換会 18:00—19:30
※ 希望者のみ 参加費別途6,000円

沖縄県青年会館

沖縄県那覇市久米 2-15-23 Tel.098-864-1780

分科会 9:30—13:00
9:00開場

全体会 14:00—16:00

沖縄県市町村自治会館

沖縄県那覇市旭町116-37 Tel.098-862-8181

オプショナル

沖縄現地フィールドワーク

※ 希望者のみ 参加費別途

Aコース: 沖縄戦をたどる

Bコース: 米軍基地と辺野古
現地視察

1日目: 1月29日(水)

●開会挨拶

●来賓・各界からのご挨拶

●記念講演

「沖縄、日本を再び戦場にさせてはならない」
玉城 デニー 沖縄県知事

●問題提起

「欧米G7からグローバルサウスの時代へ
われわれはどうするか?」
羽場 久美子 さん (青山学院大学名誉教授)

「食料自給向上のための提言」(オンライン)

鈴木 宣弘 さん (東京大学院教授)

●特別報告

○「米軍基地・自衛隊基地に翻弄される沖縄」
三上 智恵さん (映画監督)

○日中不再戦 九州自治体議員の会

○食料自給の確立を求める自治体議員連盟 他

●基調提案 実行委員会



沖縄県平和祈念公園「平和の礎」／「さざなみの池 (平和の火)」
沖縄県糸満市摩文仁444

中央の噴水から「さざなみの池」に流れ落ちる水は波紋をつくり、刻銘板まで放射状に広がっていきようデザインされています。その波は「平和の波」となって世界中に広がっていきようとの願いが込められています。「平和の火」は、沖縄戦最初の米軍上陸地である阿嘉島で採取した火と、被爆地：広島・長崎からいただいた火を合わせたもので、慰霊の日などに灯されます。

参加費

都道府県市区議会議員 15,000円 / 町村議会議員 5,000円 / 一般 1,000円 / 大学生・高校生以下 無料
別途希望者のみ ※名刺交換会費 + 6,000円 ※2日目の弁当代(お茶付き) + 1,000円
※フィールドワーク参加費 実費 (おおよそ 3,000~4,000円)

申込方法

- 第20回全国地方議員交流研修会 下記webサイトの専用申込みフォームからお申込みください。
<https://req.qubo.jp/kokuminrengo/form/E12hXg9Q> 右のQRコードからも申し込みます。
- FAXでのお申込みは、FAX申込み用紙をダウンロード、印刷してお申込みください。
- 申込み用紙の郵送をご希望の方は、下記事務局までご連絡ください。

第1次締切 12月20日



問合せ

全国実行委員会事務局 自主・平和・民主のための広範な国民連合全国事務局
〒212-0011 川崎市幸区幸町4-8 青柳ビル2F
TEL. 090-8588-8307 (担当: 迫田) E-mail: giin@kokuminrengo.net FAX. 044-541-2066

主催: 第20回 全国地方議員交流研修会実行委員会

共同代表: 北口 雄幸 (北海道議会議員) 藤本 眞利子 (和歌山県議会議員) 山内 末子 (沖縄県議会議員)



第20回 全国地方議員交流研修会のご案内

世界の変化は明瞭となっています。これまで世界を支配してきた欧米日の「先進国」が衰退し、中国、インドなどこれまで抑圧されてきたグローバルサウスの国々に世界経済と政治の重心が移っています。

ロシア・ウクライナ戦争から2年半が経ち、イスラエル・パレスチナ戦争も停戦にいたらず莫大な犠牲が出続けています。世界の格差は拡大して飢餓人口は7億3500万人に、難民数も1億人を超えたといわれています。戦争と貧困をなくすために、日本がとるべき道が厳しく問われています。中国脅威、「台湾有事」が喧伝され、防衛費は倍増、「専守防衛」は事実上放棄、自衛隊ミサイル基地が全国で次々と配備され、大規模な日米合同軍事演習も行われています。その一方で、異常な円安、物価高のなかで国民生活や経営は圧迫されています。財政難を理由に社会保障の後退が進み、地域経済は厳しく、農山村は存続の淵においやられています。戦争への不安や生活苦からの打開を求める国民の願いに、政府も、また与野党の政党も応えられず、国民の政治不信はますます深まっている状況です。住民の生活と福祉に密着している地方・自治体から、国の政治を変えていかなければならないと思います。

今年の全国地方議員交流研修会は、「二度と戦場にさせない」と平和を希求する県民意思が強く示されている沖縄県で開催します。沖縄県は県独自の地域・平和外交を推進し、アジアとの経済交流による地域経済の発展とアジアの平和への展望を模索しています。一日目は、玉城デニー・沖縄県知事の基調講演のほか、各方面の特別報告での研修、二日目は5つの分科会での研修・討論を行います。昨年からすすんだ「食料自給の確立を求める自治体議員連盟」、「日中不再戦自治体議員の会」をさらに発展させるなど、今後の連携と行動についても話しあいます。三日目は沖縄戦の戦跡めぐりと米軍基地・辺野古基地建設の視察を行います。

沖縄現地の自治体議員のみなさんが受け入れを準備されています。全国の党派をこえた自治体議員同士の研修・交流を深め、平和と国民生活、地域主権を守る運動を前進させましょう。みなさまの積極的なご参加をお待ちしております。

2日目:1月30日(木) 9:30-16:00 (9:00開場) 会場: 沖縄県市町村自治会館 那覇市旭町116-37 Tel.098-862-8181

分科会 9:30-13:00

● 第1分科会 日中不再戦 自治体・議員の役割

問題提起: 羽場 久美子 さん(青山学院大学名誉教授)
沖縄県の平和・地域外交の実践／全国の米軍、自衛隊基地強化の実態を知る／日中不再戦の自治体議員のネットワークを

● 第2分科会 農業・農村を守り、食料自給を確立するために

問題提起: 鈴木 宣弘 さん(東京大学大学院教授)
「全国各自治体での実践、世論喚起のために」(オンライン)

● 第3分科会 岐路に立つ日本の社会保障 地域のケアをどう支えるか

問題提起: 伊藤 周平 さん(鹿児島大学教授)

● 第4分科会 「こども計画策定」にあたって こどもの貧困の解消へ

問題提起: 山内 優子 さん(沖縄子どもの貧困解消ネットワーク共同代表)
「沖縄の子どもの貧困から見てくるもの」

問題提起: 木本 邦広 さん(沖縄県教職員組合 委員長)
「教員の働き方改革について」

● 第5分科会 防災・復興、原発問題を考える 地域主体の再生へ

事例報告: 能登半島地震から10か月の現状

問題提起: 小口 幸人 さん(南山法律事務所弁護士)
「支援制度から災害への備えを考える」

全体会 14:00-16:00

● 各分科会報告 ● 討論、アピール採択 ● まとめ・閉会

3日目:1月31日(金)

オプション沖縄現地フィールドワーク(※参加費別)

Aコース: 沖縄戦をたどる/Bコース: 米軍基地と辺野古現地視察

各会場へのアクセス

● 琉球新報ホール

ゆいレール 「県庁前駅」から徒歩3分

バス 「県庁北口」バス停下車 徒歩2分

● 沖縄県青年会館

ゆいレール 「県庁前駅」から徒歩5分

バス 「久茂地」バス停下車 徒歩2分

● 沖縄県市町村自治会館

ゆいレール 「旭橋駅」から陸橋直結 徒歩3分

バス 「那覇バスターミナル」下車 徒歩3分



支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	25
支 払 項 目	事務費		
検 収 年 月 日	令和6年12月5日		
支 払 年 月 日	令和6年12月5日		
支 払 金 額	6,833 円		
支 払 先	株式会社三和商会		
使 途 内 容	コピー用紙代 6,833 円		
備 考	※1/4について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☒ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領収証		No. 007528
日本共産党 桑名市議会議員団 様		2024 年 12 月 5 日
金額	¥ 27335	
但 ☒ 20% 用紙代金と1%	☐ 飲食料品等(軽減税率対象)	
内	上記正に領収いたしました	
8%(税込・税抜)金額	消費税額等	
10%(税込・税抜)金額	消費税額等	
現金・カード・()	株 式 三 和 商 会	
	桑 名 2 (代)	
	FAX 22-1480	
	登録番号 T5190002016665	
HISAGO #N1778(100)別シ J645028		

領 収 書 等 添付合計金額	27335 円 (内、政務活動費充当額 6833 円)
-------------------	-----------------------------

様式第10号(第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	26
支 払 項 目	事務費		
検 収 年 月 日	令和6年12月20日		
支 払 年 月 日	令和6年12月20日		
支 払 金 額	5,500 円		
支 払 先	株式会社中部システムセンター		
使 途 内 容	インク代 5,500 円		
備 考	※1/4について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

請求書

お客様コードNo. 042

No. 108- 1

2024 年 12 月 20 日 締切分 (20)

511-0037

桑名市元赤須賀128

日本共産党 桑名市議団 様

株式会社 中部システムセンター

〒514-0111 三重県津市一身体平野175-1

TEL 080-5101-3174 FAX 059-232-5356

登録番号: T6190001000644

【お振込先】 百五銀行 一身体支店 (507) 当座

口座名義 カ. システムセンター

TEL: 0594-24-0861M FAX: 0594-24-0861

下記の通りご請求申し上げます。 ※ご請求月の翌月末までにお支払い下さいますようお願い申し上げます。

前 回 ご 請 求 額	ご 入 金 額	調 整 額	繰 越 金 額	今 回 お 取 引 額	ご 請 求 額
61,600	61,600	0	0	22,000	¥22,000

伝 票 日 付	伝票No.	品 名	数 量	単 位	単 価	金 額
24/12/ 4	79398	リソグラフREインク FIIタイプ 黒	2	箱	9,600	19,200
		送料	1	式	800	800
		消費税等				2,000
						< 22,000>
24/12/12	74513	[入金 (振 込)]				[61,600]
		自動引落				
		【合 計】				22,000
		(内消費税等10%)				2,000
					政務活動費	¥ 5,500.-
					トナ	¥ 16,500

今回ご請求額は
1月 14日に
お引落とし致します

振込手数料は貴社にてご負担ください

※明細欄は税別金額です。

3

差引残高の金額頭部にマイナスイ「-」表示がある場合はお借入残高を表します。

様式第10号(第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	27
支 払 項 目	事務費		
検 収 年 月 日	令和7年1月15日		
支 払 年 月 日	令和7年1月15日		
支 払 金 額	5,857 円		
支 払 先	株式会社三和商会		
使 途 内 容	コピー用紙代 5,857 円		
備 考	※1/4について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☒ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領収証

No. 007531

日本共産党桑名市議員様

2025 年 1 月 15 日

金額									

但 ☒ 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

8%(税込・税抜)金額 消費税額等

OA 機器・事務用品
文具

10%(税込・税抜)金額 消費税額等

株式会社 三和商会

現金・カード・()

桑名 市柳原1-7
FAX 2

HISAGO #N1778(100)別シ J645028

登録番号 T 5190002016665

領収書等
添付合計金額

23430 円 (内、政務活動費充当額 5857 円)

請 求 書

伝票番号 124390

2025年 / 月 / 15日

【登録番号: T5190002016665】

OA機器・事務用品・文具・学校教材全般

日本共産党桑名市議会議員団

様

(000800-003)

株式会社 三和商会

代表取締役 近藤 大貴

〒511-0042 三重県桑名市柳原1-4
TEL 0594-22-1479 FAX 0594-22-1480

	品 名 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額
1	WHITE OA用紙 B4 2500枚	6	ヶ-入	3,905	(10%) 23,430
2					
3					
4					
5					
6					
7				政務活動費 T=15	45,857 12,573
8					
内税10%対象額 23,430円 税額 2,130円				合計金額 (税込)	¥23,430

摘要

取引銀行
百五銀行 桑名支店 (当)
桑名三重信用金庫 本店 (普)

検
印

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	28
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和7年2月3日		
支 払 年 月 日	令和7年2月3日		
支 払 金 額	30,800 円		
支 払 先	株式会社くわな新聞社		
使 途 内 容	広報紙折込代 30,800 円		
備 考	※支払番号「29」の広報紙の折込代		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書

日本共産党 桑名市市議団 多屋真美 様

下記の通り、領収いたしました。

但 『くわな新聞』折込広告【B4サイズ】 料として
令和 7年 2月 3日

見積No: Y20250213
見積日: 2025/2/3
登録番号: T7190001025459

会社名 株式会社くわな新聞
住所 〒511-0023
三重県桑名市本町43

TEL 0594-22-9870
FAX 0594-22-9872
担当

合計金額		¥30,800		(税込)		消費税 (10%)	¥2,800	税抜	¥28,000
------	--	---------	--	------	--	-----------	--------	----	---------

No	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1	2/13発行号(103号)【B4サイズ】折込広告料	10,000	枚	¥2.80	¥28,000	
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
小計					¥28,000	
消費税 (10%)					¥2,800	
合計					¥30,800	

備考

10000

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	29.
支 払 項 目	広報・広聴費		
検 収 年 月 日	令和7年2月5日		
支 払 年 月 日	令和7年2月5日		
支 払 金 額	53,710 円		
支 払 先	SGシステム株式会社		
使 途 内 容	広報紙印刷代 53,710 円		
備 考			

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領收書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費 ☐ 資料購入費	☐ 研修費 ☐ 人件費	☐ 会議費 ☐ 事務費	☒ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情費	☐ 資料作成費
代引金額領収書 2025年02月05日 集金代行者 佐川急便㈱ 5184-7035-5896 付ハ 四日市営業所 お問合せ送り状No. TEL 0570010344 代引金額(税込) 【決済金種】 ¥53,710- ✓:現金 内消費税:4,882円 —上記金額を領収いたしました。 印紙税申告納 付につき下京 税務署承認済 ※本振票は適格請求書としてご利用いただけません。 ※この商品代金の領収書は、依頼主の本票により発行するものと致します。 ※商品及び代金の内容に関しては、依頼主にお問合せ下さい。 ※領収書内容を修正したものは無効となります。 領収書発行者: SGシステム(株) 東京都江東区新砂1丁目8番2号 集金代行者: 佐川急便(株) 京都市南区上鳥羽角田町68番地					
領収書等 添付合計金額	53,710 円 (内、政務活動費充当額) 53,710 円)				

請求書
(インボイス)

2025年02月02日

日本共産党 桑名市市議団 御中 多屋真美 様

平素は格別のお引き立てを賜り厚くお礼申し上げます。
ご依頼いただきました件、次の通り御請求申し上げます。
何卒よろしくお願い申し上げます

株式会社プリントパック

〒617-0003

京都府向日市森本町野田3-1

TEL 0120-977-920

FAX 075-935-6890

登録番号 T5130001024625

お支払条件 代金引換（後払）

納品場所 ご指定場所

御請求金額 53,710円（税込）

納品期日 3営業日

ご注文番号	内 容	数量	単 価	金 額
PAC41901060	品名：桑名市議団25.01 B4 / 両面4色 / コート90 / 11,000部×1種類 / 加工1：トンボ仕上がり断裁（ご注文サイズでお納め） 加工2： ※発送諸経費を含みます。	1	53,710	53,710
	10%対象（税抜）			48,828
	10%消費税			4,882
	小計			53,710
合 計				53,710

特記事項

代引手数料はお客様にご負担いただく形となります。

商品到着時に運送会社様へお支払いくださいませ。

2025 年 2 月 発行

発行：桑名市議会 日本共産党桑名市議団
☎ 0594-24-1311
(桑名市役所議員控室)

※このニュースは政務活動費で作っています。
ニュースや市政のご意見をお聞かせください。

第4回定例議会

12/4(水)～12/25(水)

＜ 一般会計補正8号 ＞ 補正額 11 億 6,955 万 2 千円

- ・ スマートインターチェンジ等整備事業費 5,344 万 2 千円
スマートインターチェンジの設計に必要となる道路等詳細設計の委託料
- ・ 桑名北部東員線等 3,800 万円

桑名北部東員線等の設計に必要となる道路等詳細設計の委託料

- ・ 防災拠点施設機能拡充事業費 1 億 7,600 万円

防災拠点施設の法面保護及び補強等の土木工事の実施に係る費用

- ・ 消防庁舎等再編整備事業費 1,160 万 8 千円

消防庁舎等再編整備事業の新庁舎に移転のための必要経費（'25 年 6 月 2 日供用開始予定）

- ・ 就学前教育・保育施設整備事業費 2,322 万 4 千円

公立厚生館保育所を、公私連携型保育所として、社会福祉法人 明健福祉会に移管するあたり、改修事業に対し、こども家庭庁の補助メニューである就学前教育・保育施設整備交付金事業に沿って補助事業を行う

＜ こどもの権利条例 可決 ＞

教育福祉委員会より議員提案として、桑名市こどもの権利条例案が提出され、12/5(木)可決しました。

‘25 年 4 月 1 日から施行します。市民全体で、こどもの最善の利益を第一に考え、市は、市民と共に、こどもの権利が保障される社会の実現を目指します。

＜ カスタマーハラスメント防止条例 可決 ＞

今年の冬は過こしやく寒ですが、被災地や雪国では、寒さや積雪で大変な状況が続いています。



12月4日～12月25日の日程で、
12月議会が開かれました。
1月27日は、臨時議会が開かれました。

まだまだ寒い日が続きます。
皆様ご自愛ください。



多屋真美
教育福祉委員



公立厚生館保育所を、公私連携型保育所として、社会福祉法人 明健福祉会に移管するあたり、改修事業に対し、こども家庭庁の補助メニューである就学前教育・保育施設整備交付金事業に沿って補助事業を行う



＜ こどもの権利条例 可決 ＞

教育福祉委員会より議員提案として、桑名市こどもの権利条例案が提出され、12/5（木）可決しました。

‘25年4月1日から施行します。市民全体で、こどもの最善の利益を第一に考え、市は、市民と共に、こどもの権利が保障される社会の実現を目指します。

＜ カスタマーハラスメント防止条例 可決 ＞

12/25（水）議会最終日、カスタマーハラスメント（顧客から事業者や従業員への、暴言、過度のクレームや要求など）を行った人物に、聞き取りや警告などを行い、改善が見られなかった場合、氏名公表などの制裁措置とする条例案の採決を行いました。制裁措置を盛り込んだ全国初の条例制定として、マスコミからも注目されました。「理不尽な行為を許さないという強いメッセージを発することが期待できる」という3名の賛成討論と、「本人や家族に重大な影響を及ぼす氏名の公表について、より慎重な審議が必要」という反対討論を、6名が行いました。採決は賛成多数で可決しました。

＜ 条例の制定及び改正 ＞

●桑名市保育所条例及び桑名市子育て支援拠点施設条例の一部改正

厚生館保育所の再整備の工事期間中、厚生館保育所の園児の保育を子ども・子育て応援センター「キラキラ」で行う。また工事期間中、桑名市子ども・子育て応援センター「キラキラ」の場所を、一時的にアピタ桑名店に変更する。

議案第91号 令和6年度桑名市一般会計補正予算（第8号）に対し、3名の議員の連名で修正案が提出されました。（提出議員：市野修平議員・伊藤真人議員・近藤奈歩議員）

民間社会福祉施設等整備助成事業費

2,322 万4千円

公立厚生館保育所を、公私連携型保育所にするにあたっての改修費用に対し、移管先 社会福祉法人 明健福祉会が提出した計画案・収支報告書に疑義があることから、2,322万4千円を抜いた補正予算修正案が出されました。

修正案提案理由：”事業者が提案した収支には、28名分の人件費が計上”されているが、”市が派遣する9名の職員の人件費4500万円を市が負担する”ことになっており、提案時と現在のもものが違うものになっている。市が4500万円を複数年度、負担し続けたいと経営できず、**運営法人が安定的に質の高い保育を提供できる根拠が示されていない。**

事業自体に反対であること、会計の疑義があるまま事業を進めてはならないことから、修正案に賛成しましたが、賛成少数で否決となりました。賛成した議員は、市野議員、伊藤真人議員、近藤奈歩議員、柴田議員、永野議員、伊藤恵一議員、多屋です。補正予算は可決されましたが、疑義については、今後も明らかにする必要があるとあります。

一般質問

2.小中学校再編計画について

(1) 現時点で想定している内容と、計画期間及び予算額



質問：令和7年度に小中学校再編計画策定、市内全体に小中一貫義務教育学校建設を予定としているが、令和8年4月開校の桑名市初の小中一貫義務教育学校 多度学園をモデル校として、検証する考えはあるのか。多度学園建設の事業費は53億7,500万円（総額79億円）。建設だけで市の負担は42億6,520万円。今後どのような概算で、作るうとしているのか。

答弁：令和7年度の小中学校再編計画策定に向け、施設形態・学区割・整備候補地や再編スケジュール、計画策定後の検討を進めている。令和8年4月開校の多度学園開校から数年後、改善点があれば検討し、再編計画への反映を考えている。再編の期間及び予算額は、学校の設置数や規模により異なる。説明会で意見を頂ぎ、検討を進める。今後も庁内関係部署と連携を図り、検討を進める。

再質問：スケジュールの見直しが必要ではないのか？ 光風中学校区の再編が取り上げられているが、小規模校・複式学級が問題であるのなら、小規模校からの再編なのではないのか？

答弁：児童・生徒数の他、学校の築年数など諸条件を含め検討する。

たや：議会や地域で、長い期間と多くの議論が必要である。スケジュールを再検討すべき。

こども達や地域は、どうなるの？

現在の光風中学校区＝精義、修徳小学校区と、立教、益世、大成小学校区の一部の地域が該当

多くの児童生徒により良い教育環境

安全・安心な
これからの時代にあった
新しい学校施設

〇令和6年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①事業者公募・契約											
			②再編計画原案作成								
						③庁内検討、教育委員会協議					
								④議会協議			

〇令和7年度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	⑤地域説明										
				⑥再編計画案作成							
				⑦庁内検討、教育委員会協議							
						⑧議会報告					
							⑨パブリックコメント				
								⑩再編計画完成版作成			

分散進学 の 解消

名称	面積
光風中学校	19,801 m ²
桑名市役所	12,634 m ²
新矢田公園	1,600 m ²
市道	1,649 m ²
合計	約 35,684 m ²

光風中学校
敷地

市役所・公園
敷地

こんなに早い、小中再編スケジュール！！
地域への説明、話し合いは5ヶ月！！
こども達や地域の声を聞くことができるの？

教育委員会定例会で計画に
あがっている、光風中学校区の
再編計画について



23 議案中、8 議案に反対しました

議案第 91 号 令和6年度桑名市一般会計補正予算 (第8号)

・ 民間社会福祉施設等整備助成事業費

公立厚生館保育所を、公私連携型保育所として、社会福祉法人 明健福祉会に移管するにあたっての改修費用。

議案第 97 号 桑名市保育所条例及び桑名市子育て支援拠点施設条例の一部改正について

厚生館保育所の再整備の工事期間中、園児の保育を子ども・子育て応援センター「キラキラ」で行う。また工事期間中、桑名市子ども・子育て応援センター「キラキラ」の場所を、一時的にアピタ桑名店に変更するため。

議案第101号 財産の無償貸付けについて

公立厚生館保育所を移管する、社会福祉法人明健福祉会に、土地を30年無償で貸し付ける。

こどもの人格形成に関わる費用を、コスト削減するべきではない!と、上記 3 議案に対し、反対討論しました。

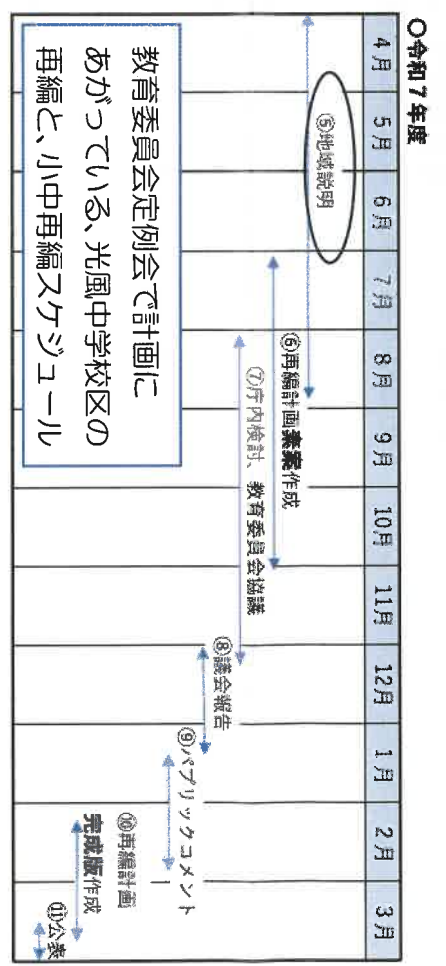
議案第 94 号 令和6年度桑名市後期高齢者医療事業特別会計補正予算 (第1号)

議案第 98 号 桑名市カスターハウスメント防止条例の制定について

議案第 100 号 財産の取得について (スクールバス (マイクローバス))

議案第 102 号 市道の認定について (スワートインターチェンジ、北部東員線等整備事業が含まれているため)

議案第 109 号 桑名市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について



1/27 (月) 臨時議会が行われました

<主な内容> 令和6年度桑名市一般会計補正予算 (第10号)

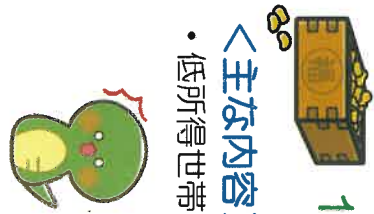
・ 低所得世帯への物価高騰支援として、住民税非課税世帯に給付 (1世帯3万円、18歳以下の子ども1人あたり2万円加算)

・ 小中一貫校事業費<継続費> 補正額 12億8706万5千円

物価上昇によるインフレサイド(10億円増)及び実施設計完了(2億5千万円増)による増額

・ 多度学園スクールバス2台の購入 4796万円

子どもの成長や教育的根拠のない、小中一貫校事業に同意出来ないため、反対しました



支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	30
支 払 項 目	事務費		
検 収 年 月 日	令和7年2月26日		
支 払 年 月 日	令和7年2月26日		
支 払 金 額	5,857 円		
支 払 先	株式会社三和商会		
使 途 内 容	コピー用紙代 5,857 円		
備 考	※1/4について政務活動費を充当する。		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☒ 事務費	☐ 要請・陳情費	

領収証

No. 009217

日本共産党

桑名市議会議員 様

2025年 2月 26日

金額

723430

但 ☐ 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

8%(税込・税抜)金額 消費税額等

10%(税込・税抜)金額 消費税額等

23430 / 2130

現金・カード・()

HISAGO #N1778(100)別シ J645028

株式会社 三和商會
 桑名 22-1480 (代)
 FAX 22-1480
 登録番号 T 5190002016665

領収書等
添付合計金額

23430

円 (内、政務活動費充当額

5,857円)

請求書

伝票番号 126240

2025年2月26日

【登録番号：T5190002016665】

日本共産党
桑名市議会議員団

様

(000800-003)

OA機器・事務用品・文具・学校教材全般

株式会社 三和商会

代表取締役 近藤 大貴

〒511-0042 三重県桑名市柳原1-1-1
TEL 0594-22-1479 FAX 0594-22-1480

	品 名 / 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額
1	WHITE OA用紙 B4 2500枚	6	ヶ-入	3,905	(10%) 23,430
2					
3					
4					
5					
6					
7				政務活動費 たす	¥ 5857- ¥ 17573-
8					
内税10%対象額 23,430円 税額 2,130円				合計金額 (税込)	¥23,430

摘要

取引銀行

百五銀行 桑名支店 (当)

桑名三重信用金庫 本店 (普)

検
印

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	91
支 払 項 目	調査研究費		
検 収 年 月 日	令和7年3月5日		
支 払 年 月 日	令和7年3月5日		
支 払 金 額	40,920 円		
支 払 先	桑名市長		
使 途 内 容	令和6年度タブレット端末通信料（年間 分）40,920 円		
備 考	1カ月あたりの通信料3,410円（税込） 3,410円×12カ月×1人=40,920円		

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号																																																																	
支出科目	☒ 調査研究費 ☐ 研修費 ☐ 会議費 ☐ 広報・広聴費 ☐ 資料作成費 ☐ 資料購入費 ☐ 人件費 ☐ 事務費 ☐ 要請・陳情費																																																																
桑名市 24-205 登録番号 T5000020242055 納入通知書兼領収書 〒 511-8601 住 所 三重県桑名市中央町2丁目37番地 共産党桑名市議団 多屋 真美 様 <table border="1"> <tr> <td>年 度</td> <td>伝票番号</td> <td>予算</td> <td>会計</td> <td>所属</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>0049209 - 001</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>30010</td> </tr> <tr> <td>款 項 目 節</td> <td>1</td> <td colspan="3">議会費収入</td> </tr> <tr> <td>21 4 3 細節</td> <td>10</td> <td colspan="3">タブレット端末使用料</td> </tr> <tr> <td>金額</td> <td colspan="4">40,920 円</td> </tr> <tr> <td>内 消費税</td> <td>0 円</td> <td>消費税</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>納 期 限</td> <td colspan="4">令 和 7 年 3 月 31 日</td> </tr> <tr> <td>所 管 課</td> <td colspan="4">議会事務局</td> </tr> <tr> <td>摘 要</td> <td colspan="4">令和6年度タブレット端末通信料(年間分)</td> </tr> <tr> <td>発 行 日</td> <td colspan="4">令 和 7 年 3 月 1 日</td> </tr> <tr> <td colspan="5"> 上記金額を納入してください。 桑 名 市 長 </td> </tr> <tr> <td colspan="2"> 上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関 </td> <td colspan="3"> 領収日付印 </td> </tr> </table> ※領収日付印のないものは無効です。 (納入者保管) 桑名市 24-205						年 度	伝票番号	予算	会計	所属	6	0049209 - 001	0	1	30010	款 項 目 節	1	議会費収入			21 4 3 細節	10	タブレット端末使用料			金額	40,920 円				内 消費税	0 円	消費税			納 期 限	令 和 7 年 3 月 31 日				所 管 課	議会事務局				摘 要	令和6年度タブレット端末通信料(年間分)				発 行 日	令 和 7 年 3 月 1 日				上記金額を納入してください。 桑 名 市 長					上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関		領収日付印		
年 度	伝票番号	予算	会計	所属																																																													
6	0049209 - 001	0	1	30010																																																													
款 項 目 節	1	議会費収入																																																															
21 4 3 細節	10	タブレット端末使用料																																																															
金額	40,920 円																																																																
内 消費税	0 円	消費税																																																															
納 期 限	令 和 7 年 3 月 31 日																																																																
所 管 課	議会事務局																																																																
摘 要	令和6年度タブレット端末通信料(年間分)																																																																
発 行 日	令 和 7 年 3 月 1 日																																																																
上記金額を納入してください。 桑 名 市 長																																																																	
上記の金額を領収しました。 桑名市指定金融機関 桑名市指定代理金融機関 桑名市収納代理金融機関		領収日付印																																																															
領 収 書 等 添付合計金額	40,920 円 (内、政務活動費充当額 40,920 円)																																																																

様式第10号(第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	32
支 払 項 目	資料購入費		
検 収 年 月 日	令和7年3月6日		
支 払 年 月 日	令和7年3月6日		
支 払 金 額	4,000 円		
支 払 先	全生連桑名生活と健康を守る会		
使 途 内 容	制度のあらまし（2024年-2025年）購入費 4,000 円		
備 考			

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費 ☒ 資料購入費	☐ 研修費 ☐ 人件費	☐ 会議費 ☐ 事務費	☐ 広報・広聴費 ☐ 要請・陳情費	☐ 資料作成費

領 収 証

多 屋 様 2025 年 8 月 6 日

★ 4,000 円

但 2025年度版制度のあらまし 代
 上記正に領収いたしました

内 訳		511-0903 桑名市大山田4-9-6 衛藤大
税率	金額(税抜・税込)	全生連桑名生活と健康を守る会
10 %	消費税額等	
税率	金額(税抜・税込)	
8 %	消費税額等	

登録番号

領 収 書 等 添付合計金額	4,000 円 (内、政務活動費充当額 4,000 円)
-------------------	--------------------------------------

2024年11月15日発行(毎月1回15日発行)2024年1月11日第三郵便物承認

くらしに役立つ

月刊「生活と健康」
臨時増刊 No.1173

生活
と健康

制度のあらまし

2024_年 2025_年

全国生活と健康を守る会連合会

2024年（令和6年）11月15日発行 第三種郵便物承認

月刊『生活と健康』臨時増刊（二七三号）

生活 健康

発行所／全国生活と健康を守る会連合会
〒160-0022 東京都新宿区新宿5-12-15 KATOビル3F
TEL03-3354-7431（代）／FAX03-3354-7435

振替／郵便振替 00170-1-156411

印刷所／あかつき印刷株式会社
特別価格／4,000円（送料別）

様式第10号(第6条関係)

支 払 伝 票

会 派 名 又 は 議 員 名	日本共産党桑名市議団 多屋 真美	会派代表者 又は議員印	
会 計 年 度	令和 6 年度	支払番号	33.
支 払 項 目	資料購入費		
検 収 年 月 日	令和7年3月31日		
支 払 年 月 日	令和7年3月31日		
支 払 金 額	2,520 円		
支 払 先	全国地域人権運動総連合		
使 途 内 容	「地域と人権」年間購読料 2,520 円		
備 考			

※領収書及び内容を証する書類を裏面貼付するか添付してください。

※備考欄には按分根拠等、支払の内容説明が必要な場合記入してください。

領収書等貼付用紙

整理番号					
支出科目	☐ 調査研究費	☐ 研修費	☐ 会議費	☐ 広報・広聴費	☐ 資料作成費
	☐ 資料購入費	☐ 人件費	☐ 事務費	☐ 要請・陳情費	

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
07-03-31	22005	A93350012
取扱店	クワナ	
払込口座	00840-1	101688
払込金額	*2,520	料金 *0

振替受付票

払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。

料金には、消費税等が含まれています。(ゆうちょ銀行)

入金額 *3,000

おつり *480

24年度経費

財布を忘れても大丈夫、ゆうちょ通帳アプリでらくらくATM入出金！

00840-1

101688

2520

クワナ 車美様

印紙税申告納
付につき翔町
税務署承認済

領収書等
添付合計金額

2520 円 (内、政務活動費充当額 2520 円)



11/15 2024
No.1262

毎月15日発行
1972年9月18日 第三種郵便物認可
全国人権連ホームページ
<http://zjr.sakura.ne.jp/>

(お知らせ)

第18回地域人権問題全国研究集会は2025年10月9～10日にかけて島根県松江市内で開催いたします。予定のほどお願いいたします。

「部落差別解消法」は解決を妨害し時代に合わない



開会あいさつで丹波正史代表委員は、「部落差別」は社会問題としては解決された状況にあるが、2016年に人権連

や自由法曹団、日本共産党の反対を押し切り国会で制定された「部落差別解消推進法」は融合を阻害し解決を妨害、根本的

に間違っている法律。時代にマッチしないと批判、「廃止させる世論運動を強めよう」と呼びかけました。

主催者代表あいさつで中島純男代表委員は「三重での全国集会は今回で3回目。弓矢人権裁判闘争、伊勢市の地域アイバルワークの間違いを是正させるなど、偏回教育の是正と同和行政廃止への世論構築に寄与してきた」と強調。「今集会は、憲法が活きる地域社会の創造にむけ、人権と民主主義、住民の要求と組織化、行政と教育の民主的なあり方を論議。」

「部落問題」を社会分断の道具として政治的に利用させないために、市民的共同のとりくみに参

三重で第17回全国研究集会

憲法を暮らしに活かし、住みよい地域社会の実現をめざしている全国地域人権運動総連合は10月10、11日の両日、三重県津市の総合文化センターで第17回地域人権問題全国研究集会を開き300人が参加しました。1日目の全体会では全国人権連の丹波正史代表委員が開会、中島純男代表委員は主催者代表あいさつ。歓迎あいさつは西尾比呂現地実行委員長からありました。新井直樹事務局長が「集会への提起」で基調報告。記念講演は参議院議員の大門実紀史氏が「日本経済と安保、人権、憲法」と題して講演。特別報告は、地元の久松倫生松阪市議が「弓矢裁判で問われたもの」、八鹿高校事件50周年として濱通生阪南大教授が「生徒の立場で経験した八鹿高校事件」をそれぞれ報告しました。

「部落問題」を社会分断の道具にさせない

画、調、実、と、は、務、起、10、連、争、活、増、権、の、共、共、制、ま、型、た、考、し、取、て、新、の、有、べ、画、「右、題、教、体的、に、記、した、法、人、集、従、並

研究集会開催

している全国地域
文化センターで第
した。1日目の全
代表委員は主催者
からありました。
演は参議院議員の
講演。特別報告
に「八鹿高校事件
八鹿高校事件」を

の でない

運っている法律。時
マッチしないと批
「廃止させる世論と
を強めよう」と呼び
ました。

催者代表あいさつで
純男代表委員は「三
の全国集会は今回で
目。弓矢人権裁判闘
伊勢市の地域フー
ワークの間違いを是
せるなど、偏同教育
正と同和行政廃止へ
論構築に寄与してき
と強調。「今集会
憲法が生きる地域社
創造にむけ、人権と
主義、住民の要求と
化、行政と教育の民
なあり方を論議。

藩問題」を社会分断
県として政治的に利
せないためにも、市
共同のとりくみに参

画していく時期」と強
調、「熱のある集会、現
実に実践的な論議を」
と促しました。

基調報告で新井直樹事
務局長は、「集会への提
起」として全国人権連第
10回全国大会の決定①国
連憲章に沿った戦争や紛
争事態の解決 ②国民生
活や平和のために大軍拡
増税の阻止 ③幸福追求
権を含む憲法擁護と権利
の拡充などを紹介、自民
党の改憲4項目は「公
共」の名で個人の権利を
制限するものと批判。さ
またまな人権団体と共同
型の運動を進めるため新
たな「地域人権憲章」を
考えるべき」と問題提起
しました。

部落問題の解決につ
いて新井事務局長は「解決
の到達状況が行政的に共
有されていない」と述
べ、法務省の「人権教育
・啓発に関する基本計
画」見直しに係って、
「有識者検討会が部落問
題（同和問題）について
教育・啓発の方向性を具
体的に検討し、基本計画
に記載する必要あり」と
したことにふれ、7月の
法務省ヒヤリングの際、
人権連として部落差別の
実態の解消状況を説明、
従来の人権教育・啓発が

マイナス効果になってい
るとして、計画構成の大
幅見直しを意見提起した
と報告しました。

最後に、インターネット
上の権利侵害で「情報
流通プラットフォーム対
処法」は、国民の言論表
現の自由と検閲に係る問
題があり、行政のモニタ
リングは特定の言論排除
になりかねないので慎重
な対応を呼びかけ、分科
会での論議を促しまし
た。

特別報告

久松倫生松阪市議が
「弓矢裁判に問われたも

集会の様子



久松倫生 松阪市議



濱通生 阪南大教授



オープニング 三重のうたごえの仲間たち

の」と題して報告。久松
氏は「確認糾弾も学習の
場」とする三重の同和教
育体制に弓矢裁判は風穴
を開けた。名古屋高裁判
決は「確認糾弾への出席
強要は違法、行政が会場
等の提供、糾弾会準備も
違法」と断じたことは、
三重の解同癒着の教育や
教育行政是正の足掛かり
になった。判決後、三重
での糾弾会はなくなっ
た。「間違った行政や教
育はかならず破綻する」
と訴えました。

50年前、兵庫県立八鹿
高校在校生の濱通生阪南
大教授は「生徒の立場で

経験した八鹿高校事件」
で特別報告。集団リンチ
の現場体育館に剣道部の
部員と潜入、解同支部員
らが女性教師3人に性的
暴力をふるっているのを
目撃、丸尾良昭らに「暴
力反対」と詰め寄った経
緯をリアルに報告。濱氏
は八鹿高校事件は兵庫県
政・県教委と県警に庇護
された解同の権力犯罪だ
ったと批判、部落解放運
動を冒険するものと訴え
ました。

なお、司会は清水信江
事務局次長が、1日目閉
会挨拶は吉村駿一代表委
員が行いました。

〒116-0003 東京都荒川区南千住2-16-6
TEL (03) 5615-3395 FAX (03) 3452-8739

発行 全国地域人権運動総連合

頒価 1部147円(送料63円) 1ヵ年2520円(送料含む)
郵便振替 00190-7-371125

CHIKI to JINKEN

山口県地域人権運動連合(名分)の2023年度県民の人権尊重を求める県内署名を県知事と県教育長に提出したところ、運動方針では、大軍拡に反対、立憲主義の回復、9条改憲を許さず憲法の人権保障実現、貧困と格差の是正、誰もが安心して平和で人間らしい暮らしができる地域社会の実現をめざそうと7月24・25日、第19回大会を下松市内で開催しました。

登田幸雄代表委員のあいさつで開会し、道瀬かよ子・柳井支部長を議長に選出、秋山英雄代表委員が開いて、末長正書記長は県民大運動で2万3612筆

(名分)の2023年度県民の人権尊重を求める県内署名を県知事と県教育長に提出したところ、運動方針では、大軍拡に反対、立憲主義の回復、9条改憲を許さず憲法の人権保障実現、貧困と格差の是正、誰もが安心して平和で人間らしい暮らしができる地域社会の実現をめざし、住民要求を基礎にした地域人権運動を展開するとし、16項目の人権課題の取り組みを提起しています。

大会では、光支部、宇部支部、寺本勝・馬場幹雄。

書記長 末長正、書記次長 登田幸雄・田中輝明、書次とおりです。代表委員は大会で選出された役員は

県人権連第19回大会を開催

平和で人間らしい暮らしができる地域社会の実現を

山口



山口県人権連第19回大会

第19回大会で選出された執行部

大分県人権連第5回総会

大分県人権連第5回総会

小中学校で「部落差別の実態はない」

第12回北九州人権問題公開講座

福岡



教えれば
新たな差別生む

人権連北九州市協など
で構成する北九州人権問

題公開講座実行委員会(三輪俊和委員長)は9月16日午後、北九州市立小倉南生涯学習センターで第12回公開講座を開

た。参加し、講師は、75人が、北九州市の学校給食の運営を「学校給食と人権教育」から捉え、人権教育を義務めた前田由美子氏は、福岡県の隣保館利用は福岡県の植山光朗さん、今年3月まで給食調理を「味」よりの給食の提供時間、最優先になっていると問

生きた食育につながる。現場の声を伝えました。二小学校教育員の大倉さんは、いまの子どもの生活は、13か月間補償で無料化、子どもたちには金、をかかっていると懸念を。以上は10年以上と続

介。今年2月県議質疑で『近5年間福岡県上



生きた食育につながると思場の声を伝えました。

元小学校教員の大島正部差別解消の進展と実

さんは、いまの子どもの

「サンプ（三問）」がな

0年から23年の4年間、

北九州市内では202

は、教育が新たな差別を

うえつけることになる」

と教えないことを強調。

また、児童生徒支援加

配が「人権教育担当者」

結果にふれ「差別された

体験がない」が92%、

「ある」が8%だから割

以上は10年以上前と紹

介。今年の2月県議会

質疑で、最

近年間の

福岡県下で

人権連の植山光朗さん

は福岡県の隣保館利用者

差別体験アンケート調査

結果にふれ「差別された

体験がない」が92%、

「ある」が8%だから割

以上は10年以上前と紹

介。今年の2月県議会

質疑で、最

近年間の

福岡県下で

福岡県下で

大分

行政課題の解決と ともに組織建設も協議

大分県地域人権運動

連絡協議会第5回総会

は9月21日大分コンパ

ルホールで開催し、県

内外の情勢や課題、財

政組織活動の方針を決

定しました。

次期総会までの運動

方針では、第10回全国

人権連全国大会の諸方

針を地域で具体化・実

践することや9条改憲

に反対する諸活動をあ

げています。また県内

の課題では、①解放回

盟など運動団体への多

額の補助金の廃止 ②

差別を助長・拡大する

意識調査廃止問題 ③

課名変更問題 ④「フイ

ールドプロジェクト問題 ⑤

県下自治体の解同機関

紙の多額な公費購入問

題 ⑥県人権・部落差

別解消教育研究協議会

への公費による教師派

遣 ⑦大分市の「同和

税と保育料の減免問題

地区居住者への国保

を求める問題 ⑨その

他、県下での同和行政

・教育の廃止をめざす

を進めていくことも確

統一を図りながら運動

をすすめていくことも確

をすすめていくことも確



第37回国民融合東播合宿研

兵庫

憲法とおりの行政を実現し 持続する世界を展望して

合宿研究会が8月24、25日の両日、三木市にあるコープこづへ協同学苑

で開催され、1日目33人、2日目48人が参加

して、熱心に学習しまし

そしています、と挨拶をし

ました。

開会に当

たって東播

人権連の前

田泰義会長

が集会の経

過をはじ

め、この間

支部では分

断ではなく

市民融合の

まちづくり

を提起し、

部落問題は

社会問題と

しては解決

長）が講演しました。

通の。顧問 堤栄三

（県議）、会長 荒木

ひろ子（中津市議）、

副会長 岩男洋喜、事

務局長 用松律夫、事

務局次長 折元淑子。

総会では、部落問題

研究会理事の梅田修と

んが、「人権教育・啓

発によって『差別意

識』は解消するの「か

調査』『部落問題学

習』と題して講演

を行いました。